

平成29年4月1日

各高等学校長様
放送部顧問様
視聴覚主任様
国語科主任様

大阪府高等学校視聴覚教育研究会

会長 岩崎判二

第64回 NHK 杯全国高校放送コンテスト大阪大会開催について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、全国放送教育研究会連盟から、平成29年度第64回 **NHK** 杯全国高校放送コンテストについて、各府県に対し参加を求めてまいりました。

つきましては、下記要領により、大阪大会を開催いたしますので、参加方ご勧奨くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 主 催 大阪府高等学校視聴覚教育研究会 **NHK** 大阪放送局
2. 後 援 大阪府高等学校芸術文化連盟
3. 目 的 全国高校放送コンテストの主旨にしたがい、本府より代表推薦のための選考を行う。
4. 期日および会場 予選………6月4日（日）
アナウンス部門・朗読部門公開審査
（会場 大阪緑涼高等学校）
決勝………6月18日（日）
全部門公開審査
（会場 大阪市立青少年センター）

NHK 杯全国高校放送コンテスト大阪大会実施要領

1. 参加資格

平成29年6月現在、大阪府下の以下の学校・専修学校・各種学校に在籍中の生徒およびその作品で、学校長の推薦を得たものであること。

- ・高等学校及び中等教育学校の後期課程
- ・支援学校の高等部
- ・高等専門学校（第3年次までの生徒）
- ・専修学校及び各種学校（修業年限が高等学校と同じ）

また、予選当日は、顧問またはそれに替わる教職員1名以上が、コンテストの運営・審査に携わることを参加の条件とする。

2. コンテスト各部門と課題

(1) アナウンス部門

- (ア) アナウンスする内容は、自校ニュースなど校内放送に使用するものとし、原稿はこの大会のために新しく生徒が自作したものに限る。また作品は、放送されることを前提に、表現方法などに留意すること。
- (イ) 出場番号を含め、1分10秒以上1分25秒以内でアナウンスする。
(大阪大会では名前を読まない。)
- (ウ) 申込み後、原稿を大阪大会所定の書式で電子メールにて提出する。提出後の改変は認めない。
- (エ) 予選を通過した場合、予選原稿の手直しは認めるが、テーマの変更は認めない。
- (オ) 決勝の発表では、原稿に続けて課題原稿をアナウンスする。なお、課題原稿は発表時間には含まないが、審査の対象になる。
- (カ) その他は、全国大会要項に準ずる。

(2) 朗読部門

- (ア) 次の指定作品の中から1編を選び、発表にふさわしい箇所を任意抽出（脚色・改変は認めない）し、規定時間内で朗読する。また作品は、放送されることを前提に、抽出箇所などに留意すること。抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は改変とみなす。本文中の（ ）内も読むこと（※ 読み仮名・訳者注を除く）

○指定作品

- | | | |
|--------------|---------------------|---------|
| 1) 「掌の小説」 | 川端 康成 著 | (新潮文庫) |
| 2) 「遠い朝の本たち」 | 須賀 敦子 著 | (ちくま文庫) |
| 3) 「チア男子!!」 | 朝井 リョウ 著 | (集英社文庫) |
| 4) 「愛の妖精」 | ジョルジュ・サンド 著／宮崎 嶺雄 訳 | (岩波文庫) |
| 5) 「宇治拾遺物語」 | | |

以上の5作品から1編を選び、朗読する。作品の改変は認めない。電子書籍は認めない。

1) は平成23年改版以降のものに限る。(平成22年以前のは不可)。

1) と2), 5) は収録作品のいずれを選んでよい。なお、選定した章のタイトルを作品名として読むこと。

4) は2010(平成22)年改版以降のものに限る(2009(平成21)年以前のは不可)。

5) は現代語訳不可、出版社は問わない。

- (イ) 出場番号・著者名（訳者名は読まない）・作品名を含め、1分30秒以上1分50秒以内で朗読する。(大阪大会では発表者の名前は読まない。)
- (ウ) 申込み後、原稿を大阪大会所定の書式で電子メールにて提出する。提出後の改変は認めない。

- (エ) 1)～4)については、提出する原稿に抽出箇所の開始ページ数を記入すること。
- (オ) 文中の短歌・俳句は繰り返して読まない。
- (カ) 予選を通過した場合、抽出箇所の変更は認めるが、指定作品の変更は認めない。
- (キ) 決勝の発表では、原稿に続けて課題原稿を朗読する。なお、課題原稿は発表時間には含まないが、審査の対象になる。
- (ク) その他は、全国大会要項に準ずる。

(3) ドキュメント部門

- (ア) 高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオ・テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切に、独創的な作品であること。また作品は、**放送されることを前提に、表現方法などに留意すること。**
- (イ) ラジオドキュメント部門について
 - ① 6分30秒～7分以内でまとめる。時間を厳守すること。
 - ② 作品は審査用、バックアップ用とも次のメディア・形式で収めること。
CD-DA形式（音楽CDと同じ形式）で録音されたCD-R。
 - ③ 作品の最後には「制作は〇〇高等学校放送部（放送委員会等）でした」というクレジットコールを入れる。この際、**音楽等がかからないように注意する。**
 - ④ 審査は会場の機材を使用して行なう。
 - ⑤ 計時は最初の音から、クレジットコールの終わりまでとする。
- (ウ) テレビドキュメント部門について
 - ① 7分30秒～8分以内でまとめる。時間を厳守すること。
 - ② 作品は審査用、バックアップ用とも次のメディア・形式で収めること。
DVD-VIDEO形式（NTSC規格、アスペクト比は16：9）で録画されたDVD-R。なお、メニューはつけないこと。なお、アスペクト比4：3でないと作成できない場合は、大阪府の放送コンテスト委員会に必ず問い合わせをすること。
 - ③ 番組の最後には「制作：〇〇高等学校放送部（放送委員会等）」という**クレジットタイトル**を入れる。
 - ④ 番組の前後に**5秒ずつ所定のテストパターン（カラーバー）**（全国大会要項の様式3）を録画する。この際、**テストパターンを改変してはいけない。**
 - ⑤ テレビ放送番組等の再録を主体としたものは認めない。
 - ⑥ 審査は会場の機材を使用して行なう。計時は始めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする。
- (エ) ラジオ番組は**番組進行表1部とCD-R2枚**を、テレビ番組は**番組進行表1部とDVD-R2枚**を**予選受付時に提出**する。この際、以下のことに注意すること。
 - ① **CD-RおよびDVD-Rにはホワイトレーベルのものを使用し、専用のペンで部門名・学校名・作品名を書き込んでおく。**レーベル面に**ラベルシールは貼らないこと。**（全国大会ホームページからダウンロードした様式4に学校名・作品名を入力してレーベル印刷してもよい。）
ケースは透明のプラスチック（ハード）のものを使用し、所定のラベルを貼っておく。
 - ② **番組進行表は、次のものをつけること。**
表紙・制作意図・スタッフ（様式2-1）、CUEシート（様式2-2）、
権利処理一覧表（様式2-3）、音源を使用した場合 日本レコード協会の許諾証、レコード会社の音源使用許諾申請書および回答書（様式2-4）、著作権者からの使用許諾書のコピー、著作権フリーの条件を示した部分のコピー、取材許諾・著作物等ご提供のお願い（使用許諾・取材許諾）（様式2-5）
 - ③ **番組進行表は全国大会要項を参照して作成すること。特に、権利処理一覧表（様式2-3）は著作物を全く使用しない場合も必ず入れ、表中に大きく「なし」と記載すること。**

- (オ) 制作したCD-R、DVD-Rは、PCでない市販の再生用の複数のCDプレーヤー、DVDプレーヤーで再生できることを必ず確認しておくこと。
- (カ) 大阪大会は、1部門に複数の作品の参加も認める。
- (キ) その他は、全国大会要項に準ずる。

(4) 創作ドラマ部門

- (ア) 脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。文芸作品などからの脚色や改作は認めない。出演者は自校生徒に限る。また作品は、放送されることを前提に、表現方法などに留意すること。
- (イ) ラジオドラマ・テレビドラマともに8分以内でまとめる。時間を厳守すること。
- (ウ) ラジオドラマは、審査用、バックアップ用ともにCD-Rを
テレビドラマは、審査用、バックアップ用ともにDVD-Rを使用する。
(ドキュメント部門に同じ)
- (エ) ラジオドラマは、最後に「制作は〇〇高等学校放送部（放送委員会等）でした」というクレジットコールを入れる。この際、音楽等がかからないように注意する。
- (オ) テレビドラマは、最後に「制作：〇〇高等学校放送部（放送委員会等）」というクレジットタイトルを入れる。また番組の前後に5秒ずつ所定のテストパターンを録画する。この際、テストパターンを改変してはいけない。
- (カ) ラジオ番組は番組進行表1部とCD-R2枚を、テレビ番組は番組進行表1部とDVD-R2枚を予選受付時に提出する。
- (キ) その他、ドキュメント部門に準ずる。全国大会要項を参照のこと。

3. 参加申込み

(1) 参加費

アナウンス・朗読部門 参加1名につき 1,000円、

番組部門 1作品につき 1,500円とする。

いずれも郵便振替で次の指定口座へ振り込むこと。なお、振込手数料は各校で負担のこと。

00960 - 1 - 328796 大阪府高校放送コンテスト委員会

(2) 参加申込書類など：

- (ア) エントリーシート（参加申込書）、原稿用紙などの必要なファイルは

<http://www.koushiken.jp>

から入手すること。

- (イ) エントリー 締切り 5月12日（金）

「エントリーシート」（Excel形式）に必要事項を入力の上、電子メールに添付して送信すること。

- (ウ) 参加申込書等の郵送 締切り 5月22日（月）

上記のエントリーシートのうち、「参加申込書」のみを印刷し、公印を押印したものと、参加費の郵便振替の受領書（コピー可）を、金剛高校まで郵送すること。

公印のある申込書をコンテスト委員会を受領して初めて正式な申込みとなる。

（参加費はインターネット等を利用した振替で送金してもかまわない。その場合は、その旨を記入した用紙で郵便為替の受領書に替えることができる）

- (エ) アナウンス・朗読部門の原稿の提出 締切り 5月22日（月）

「アナウンス部門原稿ファイル」「朗読部門原稿ファイル」（一太郎形式／Word形式）に必要

事項を入力の上、参加者1人につき1ファイルで作成し、電子メールに添付して送信すること。ファイル名は「〇〇高校-△△(氏名).doc」または「〇〇高校-△△(氏名).jtd」とする。

例： 桃谷高校-岩崎.doc

JIS規格にない漢字は、外字を作らず、ひらがな等で入力すること。提出後の原稿の改変は認めない。(提出後に、ワープロの誤変換など、原稿の改変ではない修正があった場合は、金剛高校の小畑まで連絡すること。どのように対応するか伝える。)

(3) 申込先

(ア) 電子メール

送信先： n-con@koushiken.jp (申込専用アドレス 問合せ等のメールは送信しないこと)
件名： 〇〇高等学校 (略称可)

送信後、受信完了という電子メールが自動送信される。5分経っても受信完了メールが届かない場合は、メールがうまく送信されていない可能性があるため、時間を空けて再度送信するか、下記まで問合せること。

なお、申込時に送信した電子メールアドレスに対し、コンテスト委員会から連絡のメールを送信することがあるので、日常的にメール着信を確認しているメールアドレスから申込むこと。

(イ) 郵送

下記(金剛高校 小畑)まで郵送する。

封筒には、「放送コンテスト申込」と朱書すること。

ドキュメント(ラジオ・テレビ)部門および・創作ドラマ(ラジオ・テレビ)部門の番組進行表と、CD-RまたはDVD-Rは、6月4日(日)予選会場の受付に提出すること。

(※) 番組進行表には、著作権関係の書類を必ず添付すること。

(4) 申込関係の連絡先

〒584-0071 富田林市藤沢台2-1-1
大阪府立金剛高等学校 小畑 敦彦
TEL (0721) 28-3811 FAX (0721) 28-5450
E-Mail obata@koushiken.jp

4. 審査および表彰

(1) 予選審査

(ア) アナウンス・朗読部門

日時 6月4日(日) 9時30分～17時
場所 藤井寺市春日丘3-8-1
大阪緑涼高等学校(旧大阪女子短期大学高等学校)
TEL 072-955-0718
(近鉄南大阪線「藤井寺」下車)

(イ) 番組制作部門については非公開とする。

(2) 決勝審査(全部門公開審査)

日時 6月18日(日) 10時～17時
場所 大阪市東淀川区東中島1-13-13
大阪市立青少年センター(KOKO PLAZA) TEL 06-6370-5421
(JR京都線(東海道本線)「新大阪」下車
東口(南側)より南東へ徒歩約5分
地下鉄御堂筋線「新大阪」下車 中改札より東へ徒歩約10分)

(3) 審査

会長および会長が委嘱する高校・NHK関係者などで行う。

(4) 表彰

●大阪府高等学校視聴覚教育研究会長賞	
総合優秀校	第1位～3位
アナウンス部門	入賞 第1位～6位
朗読部門	入賞 第1位～6位
ドキュメント部門(ラジオ・テレビ)	入賞 第1位～4位
創作ドラマ部門(ラジオ・テレビ)	入賞 第1位～3位
(ただし、各部門とも入選若干名を表彰することがある)	
●NHK大阪放送局長賞	各部門 第1位

●上記大阪大会入賞者および入賞作品は、審議の上全国高校放送コンテスト大阪府代表として推薦する。(ただし創作ドラマ部門については第2位までの2作品とする。)

●総合優秀校は、個人参加部門(アナウンス・朗読)と団体参加部門(番組制作)の両部門にわたって参加している学校を対象とし、各部門の成績を総合的に判断して選定する。

5. 著作権について

(1) 「著作権法」には、次のように決められている。

音楽、写真、美術、放送番組やパソコンなど、自作以外の著作物の複製を利用する場合は、著作権者に使用目的などを説明して理解と協力を求め、使用許可を得ること。同様にプライバシーを含む人権についても十分配慮し、許可を得ること。

- (2) 放送コンテストは高校生の創造性を大切にするという主旨からも、高校生自身による台本作り、作曲、演奏、制作(絵画、写真)の使用が望まれる。
- (3) 番組作品中で、自作以外の著作物から音楽や写真・映像等を使用する場合、著作権者の許諾を得る必要がある。著作権の処理については、各高校で責任を持って行うこと。
- (4) JASRAC管理楽曲の処理はコンテスト委員会を通じて行わない。各校で事前に処理されたうえで申し込むこと。
- (5) 自作以外の著作物を使用する場合は、著作権者の許諾を得た上で使用し、番組台本の末尾に著作物の出所を明示すること。音楽など数曲、数件にわたる場合は、使用の順に記入すること。
①使用した作品名や図書名等、②制作会社名及び発売会社名等、③作者名、著作者名等、④使用した部分に出演者がいる場合はその名前等、自己保有でない場合は⑤所有者名を付記する。
なお、著作権者などが不明の場合はその旨を明記すること。様式は、全国大会要項に準ずる。
- (6) 音楽著作権の処理について、市販の音源を利用する場合は、作詞家、作曲家の著作権処理(JASRAC)と、音源製作者の著作隣接権処理(レコード製作者等)の両方が必要となる。著作権フリーで制作者へ了解を得ることが必要でない場合を除き、必ず全国大会要項に記載されたとおりに著作権処理を行うこと。

- (7) その他、詳細については全国大会要項を参照のこと。
なお、著作権処理に不備がある場合は、審査できないことがある。

6. その他

- (1) 学校長の公印がある参加申込書をコンテスト委員会を受領して初めて正式な申込みとなる。
- (2) 全国大会要項「校内放送研究」は、4月23日の技術講座参加校に配付する。技術講座に参加せず、コンテストにエントリーした学校には別途送付する。
- (3) 各参加作品は、全国大会要項に準じて審査するので、規格以外のものは除外する。
- (4) アナウンス・朗読部門は前年度優勝者の同一部門への参加を認める。また、1名1部門に限る。
- (5) 予選当日に出場できない公的な理由（検定試験・学校行事など）がある場合、申込み時に申し出ること。決勝当日に出場できない場合は棄権とする。
- (6) 予選通過者は当日発表する。
- (7) 全国大会出場に参加費や旅費などは一切本人または学校負担とする。
- (8) その他、不明な点は下記へ照会されたい。

〒 543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町7-72
大阪夕陽丘学園高等学校 中井 勝久
TEL (06) 6771-9510 FAX (06) 6773-0356
E-Mail nakai@koushiken.jp

- (9) 以下の放送コンテスト関係のホームページも参考のこと。
- ★大阪府高等学校視聴覚教育研究会のホームページ
(大阪大会の申し込み関連ファイルの配布、コンテストの結果・講評もこちらから)
URL <http://www.koushiken.jp/>
 - ★NHK 杯全国高校放送コンテストのホームページ
(番組部門の各様式 [全国大会要項] や、全国大会結果報告等が掲載される)
URL http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/index.html

校内放送研究発表会の実施について

全国大会に準じ、校内放送研究発表会を行う。日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力または技術的な創意工夫などを発表すること。

1. 目的

日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力または技術的な創意工夫などを発表する機会を設け、各学校が持っている問題を共有し、ともに解決する場所を提供することを目的とする。

2. 発表規定

- ① 発表内容は、校内放送に関するものに限る。
- ② 発表時間は機材調整を含めて8分以内とする。
- ③ 発表者は、機械操作を含めて3名以内とする。
- ④ 発表に伴う資料の配付は、常識の範囲で自由とする。
- ⑤ 発表は、パソコンを用いたプレゼンテーションとする。
使用できる機材等は、全国大会に準ずる。全国大会要項で確認すること。

3. 日時と場所

コンテスト決勝大会において、番組部門の審査終了後、番組部門審査会場にて発表する。

4. 参加申込み

(ア) 必要なファイルは <http://www.koushiken.jp/> から入手すること。

(イ) エントリー 締切り 5月12日(金)
「エントリーシート」(Excel形式)に必要事項を入力の上、電子メールに添付して送信すること。

(ウ) 参加申込書等の郵送 締切り 5月22日(月)
上記のエントリーシートのうち、「参加申込書」のみを印刷し、公印を押印したものを、金剛高校まで郵送すること。公印のある申込書をコンテスト委員会を受領して初めて正式な申込みとなる。

(エ) 研究要旨の提出 締切り 5月22日(月)
「校内放送研究発表会 研究要旨」(Excel形式)に必要事項を入力の上、電子メールに添付して送信すること。

- ① 1発表につき参加費は1,000円とする。
- ② 「研究要旨」の様式は、全国大会要項に準ずる。
- ③ 発表希望校が多い場合は、6月4日(日)の予選時に審査を行う。

5. 表彰及び推薦

発表校には、研究奨励賞を贈る。

審議の上、全国大会に大阪代表として推薦する。(2校以内)

6. その他

発表を希望する学校がない場合、研究発表会は中止になることがある。

アナウンス・朗読部門 原稿書式見本

(原稿ファイルをダウンロードして使用すること)

アナウンス部門 学校名 大阪府立阿奈高等学校
名前 観翻 厳孝

- ・ひとり1ファイルで保存すること。
- ・7行目から本文を入力すること。
- ・ページ設定を変えないこと！
貼り付ける際には、「形式を選択して貼付→テキスト形式」で行うこと。

(ここから本文)

放送部の最大の公式戦は、毎年6月に行われるNHK杯全国高校放送コンテストです。この大会は、アナウンスや朗読、番組制作など、7つの部門に分かれ、日ごろの練習の成果を競うもので、昨年度は、55校410人の参加者がありました。

大会運営の本部先生は「多くの高校生ががんばっている姿を、もっと多くの人たちに知ってもらいたい」と話しています。

一方で、参加者が多くなったことでの悩みもあると言います。規定を守っていない参加者も増えてしまったことです。アナウンスや朗読の部門では、前もって提出する原稿が規定違反になっていると、担当の先生が作り替えなければならず、それが大きな手間になっています。

そこで、今年から、原稿の書式の見本を、大会要項の冊子に載せることにしました。原稿用紙はインターネットからダウンロードした書式を使いますが、見本を載せ、正しい書式かどうか、見ただけでわかるようにすることで、規定違反を減らすのが目的です。

**あらかじめ設定してある書式
(ページ設定、フォントのサイズ等)
を変えないこと**

朗読部門 学校名 大阪府立浪独高等学校
名前 源光 実翻
作者名 武者小路実篤
作品名 思い出からやってくる人 作品番号 1
抽出部分の開始ページ数 p. 〇〇

- ・8行目から本文を入力する。
- ・ひとり1ファイルで保存する。
- ・JIS規格にない漢字は、
ひらがな等で入力のこと。
- ・ページ設定を変えないこと！
貼り付ける際には、「形式を選択して貼付→テキスト形式」で行うこと。

(ここから本文)

祖母たちのことを思い出していると、愛され大事にされた記憶しかよみがえってこないのに、なぜか涙ぐんでしまう。私には彼女たちが何を言っても聞かされなかった。しかし彼女たちは、私に全

それが、私の知っている明いつだったか、書店でのサ 三十代前半くらいの、静かな雰囲気の人だった。その人は私の手を握ったまま、ふいに涙をこぼした。

「小川さんが無くなった私の祖母に、とてもよく似てらっしゃるものですから…」
そう言って、そっと涙をぬぐった。きっと彼女のまばあさんも、私の祖母たちと同じように、う

**あらかじめ設定してある書式
(ページ設定、フォントのサイズ等)
を変えないこと**

番組進行表 提出前のチェック項目

番組制作時および出品前にチェックを行い、違反や不備のないようにしてください。

チェック

1	様式2-1	必要事項を記入している（創作ドラマ部門は、あらすじを結末まで記入）。	
2	様式2-1	スタッフ・キャストを見本と同じように記入している。	
3	様式2-1	著作権管理団体の許諾を受けた場合、許諾番号を記入している。	
4	様式2-2	著作物の音声レベルを記入している。	
5	様式2-2	時間を開始から終了まで内容ごとに記入している。	
6	様式2-2	権利処理番号は他の様式、添付書類と統一して記入している。	
7	様式2-2	権利手続きの分類を記入している。	
8	様式2-2	様式2-3 と同一の権利手続き内容を記入している。	
9	様式2-2	音声・映像ごとに内容を記入している。	
10	様式2-2	一つ一つのナレーション・セリフの始まりと終わりを記入している。	
11	様式2-2 様式2-3	添付書類不要の権利処理番号に○をつけている。	
12	様式2-3	音楽著作物名はCDタイトルと曲名を記入している。	
13	様式2-3	自作の著作物（音源も含む）について「自作」と記入している。	
14	様式2-3	権利者の許諾書欄に記入している。消失・自作は斜線を記入している。	
15	様式2-3	著作隣接権者（演奏者・レコード協会など）欄に記入している。	
16	様式2-3	オリジナルの所有者を記入している。	
17		CD使用の許諾を得て、レコード協会の許諾証または様式2-4 を添付している。	
18		著作権管理団体または該当する著作権者から楽曲使用の許諾を得て、必要書類を添付している。	
19		イベント・公式試合・競技会などの取材について、主催者の許諾書を添付している。	
20	様式2-5	録音・撮影が制限される場所・先方が文書を求める場合の取材について管理者の許諾書を添付している。	
21	様式2-5	著作物の使用について、許諾を得て、必要事項を記入し添付している。	
22	様式2-5	校歌など学校の曲（著作権管理団体の管理外の場合）の使用について許諾を得て、必要事項を記入し添付している。	
23	様式2-5	演技者・演奏者（「ご協力のお願ひ」で取材の了解を得た取材対象者を含む）の演技・演奏について許諾を得て、必要事項を記入し添付している。	
24	様式2-5	制作者以外が制作（録音・撮影）した音声や映像について、許諾を得て、必要事項を記入し添付している。	
25	様式2-5	写真の使用について権利者（撮影者・所有者・被写体になった人）の許諾を得て、必要事項を記入し添付している。	
26		著作権フリーCDの素材タイトル（曲名）のコピーに、使用素材ごとに権利処理番号を朱書きし、添付している。	
27		著作権フリーCDの使用条件を示した部分のコピーを添付している。	
28		インターネット上の素材を使用していない。（全国コンテスト委員会が使用を認めているものを除く）	
29		レンタル店・図書館等から借りた音源を使用していない。	
30		番組のディスクを複数の一般的機器で再生を確認している。	
31		顧問が不備のないことを確認し、様式2-1の「出品校顧問」の確認欄にチェックを入れ、確認者の氏名を記入している。	